

# たんちよう

JAくしろ丹頂  
広報誌

vol.71  
2013.8

くしろ丹頂

TPP交渉即時脱退へ！ 魂の叫び！！



## CONTENTS

- TPP交渉参加に抗議し  
TPPから北海道を守り抜く総決起大会 1・2
- 第104回 釧路種馬共進会 3
- 「合同会社 白糖F-SEED」TMRセンター建設  
工事安全祈願祭 / 第12回祭りinほろろ 4
- 平成24年度 釧路管内JA野球大会  
JA配置薬推進員交代のお知らせ 5
- 普及センターだより 6
- 理事会報告 / 生乳生産実績 / 家畜販売市況情報  
退職者 7



スタックサイレージ調整作業（鶴居哺育育成センター）

# TPP交渉参加に抗議し TPPから北海道を守り抜く総決起大会



七月二十五日、札幌市中島公園で、「TPP交渉参加に抗議しTPPから北海道を守り抜く総決起大会」が開催されました。

本大会実行委員会（JA北海道中央会、北海道漁業協同組合連合会、北海道森林組合連合会、北海道農民連盟）が主催、ホクレン、北海道農協青年部協議会、JA北海道女性協議会など43団体が後援し、道内の農業者を中心に約七千人（当JAからは、役員、酪農振興会、青年部、女性部、職員計26名が参加）が集まり、TPP交渉からの即時脱退を訴えました。

中央会の飛田稔章会長は、「200%の食料自給率を誇り、日本国民の命を守っている北海道農業が、国民の生活を守る力を発揮できなくなったら日本はどうなるのか。農林漁業や他団体とともに、TPPは問題があると訴え続けてきました。

道農民連盟 山田富士雄委員長により、大会決議（左記）を満場一致で採択しました。又、北海道農協青年部協議会 黒田栄継会長の音頭で頑張ろうを三唱し、TPPから北海道を守り抜く姿勢を強く示しました。終了後は、市内をデモ行進し、シュプレヒコールを繰り返しながら「TPPの危険性について、断固反対!! 即時撤退!!」を強く訴えました。



**止めよう！TPPは亡国の交渉  
伝えよう！政府に対する我々の怒り  
広げよう！TPP参加反対運動の輪  
守ろう！地域と暮らしとこの国の未来**

## **TPP交渉参加に抗議し TPPから北海道を守り抜く決議**

平成22年10月1日に菅総理がTPP交渉参加検討を表明して以降、我々は一貫して交渉参加反対運動を展開し、道内の多くの団体と幅広くTPPの問題点について訴える活動を行うとともに、政府に対して、TPP交渉参加による地域や生活に与える影響への不安を、あらゆる手段で訴えてきた。

しかしながら、政府は多くの国民が求めている詳細な情報公開も、徹底した国民的議論もないまま、平成25年7月23日、TPP交渉会合への参加に至った。

このことは、切実な地方の声や農林水産業に従事する我々の意思が届いていないと言わざるを得ず、断じて容認できるものではない。

TPPは、聖域なき関税撤廃と一部の多国籍企業に都合のよいルール改正や規制撤廃を同時に進行する危険な協定と言わざるをえない。

また、TPPは農林水産業に大打撃を与え、地域経済を衰退させるばかりでなく、国家主権を揺るがすISD条項や医療・医薬品、金融・保険、公共事業、食品の安全基準・表示制度など、「国のかたち」を変えかねない、国民の暮らしと命を危機に陥れる可能性を含んでいる。

本日、北海道全域から結集した参加者一同は、交渉参加へと進んだ政府に強く抗議し、TPPから北海道を守り抜くために、強固な地方の声を訴え、TPPが農林水産業以外の多くの分野を含めた国民生活に影響する問題であることの道民理解を求める活動を継続的に行うとともに、TPPに係る情報開示を政府へ求めていく。

さらに、政府に対して、TPPに関する衆参両院の農林水産委員会決議の遵守を求めるとともに、北海道を守り抜く運動を強力に展開していく。

平成25年7月25日

TPP交渉参加に抗議しTPPから北海道を守り抜く総決起大会

# 第104回 釧路種馬共進会



「美 栄」 田中 光儀氏 (鶴居)



「皇 極」 小野田 喜一氏 (音別)



「蘭 寿 姫」 松井 紀行氏 (幌呂)



「アローマドンナ」 山田 恵理実氏 (白糠)

七月二十九日、釧路市大楽毛・釧路農協連共進会場で、第104回釧路種馬共進会が開催されました。管内各JA（摩周湖、標茶、阿寒、丹頂）から、計二十一頭の出品馬が集まり、資質を競いました。審査員は山下大輔氏（公益社団法人 日本馬事協会 業務部 参事）が務め、第1部1才雄馬から第7部3才以上雌馬（子付き）までの各部について審査が行なわれました。

当JAからは計四頭が出品され、審査の結果、各所で優秀な成績を収めました。又、最高位賞は、阿寒農協・山根勝幸さんの出品馬「春桜」（2部・1才・雌・日本挽系種）が選ばれました。

主な成績及び出品者は表のとおりです。



審査の様子

入 賞 馬 一 覧				
部	順位	名 号	品 種	出品者 (地区)
2部	2等1席	美 栄	日本挽系	田中 光儀(鶴居)
	2等2席	皇 極	日本挽系	小野田喜一(音別)
4部	1等1席	蘭 寿 姫	日本挽系	松井 紀行(幌呂)
5部	3等	アローマドンナ	日本挽系	山田恵理実(白糠)

# 「合同会社 白糠F-SEED」 TMRセンター 建設工事安全祈願祭 開催される。



七月十九日、白糠町茶路で、畜産担い手育成総合整備事業（再編整備型）による「合同会社 白糠F-SEED（代表社員 五十嵐政敏組合員）」の建設工事安全祈願祭が開催されました。

この事業は、良質な粗飼料確保、労働負担の軽減、生産コストの縮減等による経営基盤の強化を目的に、

白糠の生産者13戸が構成員となり、平成二十六年からの本格稼働に向け、建設工事が着工しました。

白糠地区では、初めてのTMR施設となり今後建設工事が無事完了し、白糠酪農の中核となる施設となり、組合員の酪農生産に寄与していくことをご期待致しております。

## 第12回「祭りinほろろ」開催



盛り上がりをもせたカラオケ大会

七月三十日、幌呂農村環境改善センターで、第12回「祭りinほろろ」が開催されました。

幌呂地区の農業者で構成される、祭りinほろろ実行委員会（実行委員長 松井俊治氏）主催で、地域の活性化と親睦を図る目的で行なわれ、会場には、組合員の皆様方、親子連れなど多くの来場者で賑わいました。

鶴居村幌呂地区集落 松井俊治代表から「今年は大変も良く、良い草が収穫出



女性部・手作りの味は大変好評!!

来、大変安心しております。今日は、女性部・青年部から美味しい食べ物が用意され、イベントなどもありました。

み下さい。」と挨拶がありました。

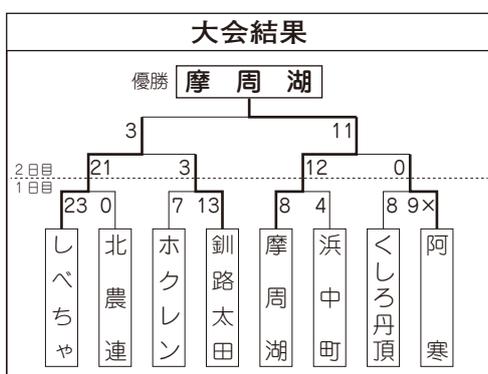
会場の屋台では、青年部が牛串やミックスジュースなどを、女性部がおでん、そば、チーズケーキなどを販売、ステージでは、幌呂小・中学生によるカラオケ大会などが行なわれ、大変賑わいました。

# 平成25年度 釧路管内JA野球大会



力投をみせた松崎投手

七月六・七日の両日、鶴居村営野球場で、平成二十五年 度 釧路管内JA野球大会が開催されました。管内六JA（浜中町、釧路太田、しべちや、摩周湖、阿寒、くしろ丹頂）及び連合会（ホクレン、北農連）の計八チームが参加し、熱戦を繰り広げました。丹頂野球部は、一回戦JA阿寒と対戦しました。先発・松崎投手から手塚、千葉（鶴居村支雪裡・後継者）投手と継投し、序盤にリードを許しましたが、終盤の粘りで同点に追いつくもあと一歩及ばず、9対8で惜



投打で活躍・千葉選手

しくも敗退しました。今大会の優勝はJA摩周湖、準優勝はJAしべちやでした。当日応援にご来場頂きました皆様方には、野球部より深く感謝を申し上げます。ご声援誠にありがとうございました。

## JA配置薬推進員交代のお知らせ

日頃よりJA配置薬をご利用いただきありがとうございます。

JA配置薬 鶴居・幌呂地区を担当しておりました 石田 智志推進員が7月31日をもって、退職いたしました。

在職期間中、皆様から寄せられた暖かいご支援並びにご愛顧に対しまして厚く御礼申し上げます。

なお、後任につきましては、現在、弟子屈・標茶・白糠・音別地区を担当している 谷田 将信推進員（平成14年1月採用）が、8月より担当させていただくことになりました。

今後は、なお一層のご要望に応えるよう努力してまいりますので、更なるご支援・ご愛顧とJA配置薬のご利用をよろしくお願い申し上げます。

※お薬の不足の場合は下記推進員までご連絡ください。

- JA北海道厚生連 配置薬部 配置薬課  
フリーコール (0120) 99-4193  
※平日8:30~17:00まで
- 釧路丹頂農業協同組合 生活課  
電話 (0154) 64-2316

〒088-3214  
川上郡弟子屈町高栄2丁目11-9  
谷田 将信 (たにた まさのぶ)  
電話 015-482-5408  
携帯 090-3779-6979

## 石灰散布していますか？

「草地にカルシウムを補給しよう」



写真1 散布風景

飼料高騰の中、自給飼料の高品質化が増々重要になってきています。植生維持や自給飼料から効率よく供給するために、基本技術の石灰施肥を見直してみませんか。(写真1)

### 一、カルシウムの必要性

草地管理において、カルシウムが不足するとpHの低下などで、適正な植生維持が困難になり、施肥効率も低下します。

写真2は、根釧農試でカルシウム、マグネシウムの施肥効果を長期的に確認している圃場です。毎年カルシウム、マグネシウムを散布している右上の区は、植生が良好に維持されています。

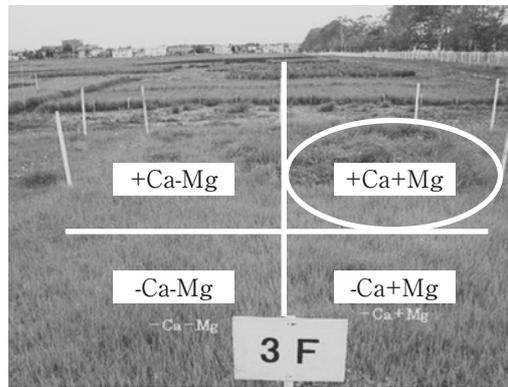


写真2 カルシウム、マグネシウムの連用効果試験

### 二、散布量について

草地土壌に対する適正なpHは五・五〜六・五となっています。マメ科牧草の生育促進、維持には、pHが五・五以下にならない前に矯正します。定期的に土壌分析を行いpH、石灰量をご確認ください。良質な牧草を収穫している方で、草地更新後三年目から、一〇アール当たり二〇キロ程度毎年散布している事例もあります。根釧農試のデータでは、三年毎

に三十キロの施用で収量を十分維持できるとされています。(表一) まずは、一〇アール当たり二〇〜三〇キロ程度散布してみたいかがでしょうか。

3年毎施用量kg /10a	生収量 kg/10 a
無石灰	3,973
30	4,410
60	4,450
120	5,085

表1 牧草への石灰施用効果 (根釧農試S62)

### 三、散布する資材について

石灰資材は、土壌改良剤の中で唯一一百パーセント国内で生産されているものです。表二に石灰資材の特徴を示しました。様々な製品がありますが、特徴や価格などを検討し散布してください。

### 四、散布時期について

通常は、秋施用が一般的ですが、作業の合間を縫って夏に散布する事例も見られます。

### 五、まとめ

近年は、アルファルファの作付も増えてきています。マメ科は高めのpHとカルシウムを好むので特に積極的に散布が必要になります。皆さんも積極的に石灰資材散布に取り組んでみませんか？ ご相談は普及センターまで。

(平成二十五年七月作成)

資材名	アルカリ分%	特徴
タンカル	53	酸性矯正と石灰を補給します
防散タンカル	50	プロキヤスで散布可能
ライムケーキ	30	水分が高く専用の散布機等が必要
粒状ホタテ・カキ殻等	46~53	ほぼタンカルと同等な効果 粒径が細かいと効果が高い
貝化石	33	カルシウム溶解量が高い

表2 石灰資材

